

法政大学大学院経営学研究科
研究指導計画
(博士後期課程)

【研究指導体制】

希望した指導教員の博士演習を履修させ、学位論文の審査基準に従い、副指導教員とともに3ステップ制のもとで各ステップのクリアを着実に進めさせ、最終的な博士論文の提出と審査合格に向けた論文指導を行う。以下は、標準的なステップを示している。

【1年次】

「4月」

- 4月下旬までに指導教員承認届を提出させ、指導教員および副指導教員を確定させる。
- 博士演習ⅠAおよびⅠBを履修させ、指導教員よりステップ1のクリアに向けて、研究計画（プロポーザル）作成の指導を行う。

「7月／12月：中間報告会」

- 博士コースワークショップⅠAもしくはⅠBを履修させ、博士論文中間報告会での報告とステップ1のクリアに向けた指導を行う。

「1月」

- 1年次の研究成果を報告書にまとめさせ、1月末までに指導教員へ提出させる。

【2年次】

「4月」

- 博士演習ⅡAおよびⅡBを履修させ、指導教員よりステップ2のクリアに向けて、先行研究のサーベイと博士論文を構成する1章以上の執筆について指導を行う。

「7月／12月：中間報告会」

- 博士コースワークショップⅡAもしくはⅡBを履修させ、博士論文中間報告会での報告とステップ2のクリアに向けた指導を行う。なお、ステップ1をクリアしていない場合は、博士コースワークショップⅠA・ⅠBの内容に準じて指導を行う。

「1月」

- 2年次の研究成果を報告書にまとめさせ、1月末までに指導教員へ提出させる。

【3年次】

「4月」

- 博士演習ⅢAおよびⅢBを履修させ、指導教員よりステップ3のクリアに向けて、博士論文の全体構成と主要な章の執筆について指導を行う。

「7月／12月：中間報告会」

- 博士コースワークショップⅢAもしくはⅢBを履修させ、博士論文中間報告会での報告とステップ3のクリアに向けた指導を行う。なお、ステップ2をクリアしていない場合は、博士コースワークショップⅡA・ⅡBの内容に準じて指導を行う。

「9月／1月：学位申請」

- ステップ3をクリアし博士論文を完成させたら、指導教員との打合せのうえ、所定の日程までに博士学位申請をさせる。
- 審査委員会での論文受理が決定されたら、公聴会を開催する。その結果を受けて、審査委員会での審査を経て学位授与を決定する。